

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	管理・膜ろ過棟	階数	地下1F・地上3F
建設地	小田原市高田401番地	構造	RC造
用途地域	工業専用地域、法22条区域、	平均居住人員	13人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年3月 予定	評価の実施日	2023年11月13日
敷地面積	8,931㎡	作成者	㈱東京設計事務所東京支社
建築面積	1,410㎡	確認日	2023年11月14日
延床面積	3,687㎡	確認者	㈱東京設計事務所東京支社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	JR東海道本線の国府津駅前よりバスで約15分、バスを下車後徒歩5分の工業専用地域に、浄水場をRC造地下1階地上3階にて計画した。	その他
Q1 室内環境	空気室環境の配慮のため、内装に使用する建材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用し、居室の換気は一人当たり30m ³ /h以上を確保した。 喫煙制御のため、対象建築物内は禁煙とした。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	BPI=0.70、BEI=0.22、LED照明設備を採用。	Q3 室外環境(敷地内)
		LR3 敷地外環境
		・LCCO ₂ 排出率55% ・今回申請建物では大気汚染物質を発生させる燃焼機器は使用しない計画とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される